

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

教育いちかわ



子どもの姿 自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

家庭・学校 地域の姿 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する

市川の教育の姿 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

いじめのない学校を目指して②

「いじめは人間として絶対に許されない行為である」「いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうる」こうした認識に立って、市川市教育委員会では「市川市いじめ防止基本方針」を定めました。今回は「②いじめが起きてしまった場合の対応」について紹介します。

いじめが起きてしまった場合の基本方針

「被害者の立場」になって考え、教職員が一体となって「いじめを絶対見逃さない・許さない」という視点に立ち、いじめ発生後の早期対応に努めることが大切と考えています。

学校では…

取組① 事実把握と共通理解を図ります。

いじめを発見した教職員は、すぐに管理職と校内窓口であるいじめ防止の組織に報告をします。そして、正確な事実把握を行いながら、関係職員も含めて迅速に対応方針を決めます。

また、職員全体にも共通理解を図ります。教育相談体制を活かしながら、被害児童生徒と保護者に寄り添った丁寧で適切な対応を進めます。教育委員会への報告、関係諸機関との連携も視野に入れながら対応します。

取組② 当該児童生徒の心のケアに努めます。

被害児童生徒に対しては、担任をはじめ養護教諭やライフカウンセラー等を交えて、心のケアに最善を尽くします。

また、加害児童生徒に対しても同様にに関わりながら「いじめは絶対に許されない」「二度と繰り返してはならない」ことを自ら気付かせるように丁寧に指導を行います。

取組③ 双方の保護者へ誠意をもって対応します。

双方の保護者に、正確な事実と問題解決への学校の考え、姿

勢を伝えます。

被害児童生徒の保護、心のケアについて最大限の配慮をする中で、加害者側への指導を行います。暴力行為や破壊行為等については毅然とした対応を学校として行います。

教育委員会では…

児童生徒の生命、心身に大きな影響がある重大事態のいじめが発生した場合は、学校は速やかに教育委員会に報告し、教育委員会は学校に対して調査と指導を行います。

教育委員会の指導課や義務教育課学校安全安心対策担当室が中心となって、いじめの対応と解決に全力で取り組みます。

いじめに関するご相談がある場合には、学校または教育委員会にご連絡ください。

【指導課】

《関連》市いじめ防止基本方針

特集「国の制度改革と市川教育」① 小中一貫教育

この4月に市川市初の小中一貫校「塩浜学園」が開校しました。統廃合を伴わない形で千葉県内初。来年4月に義務教育学校（小中一貫校）を制度化する国の取組にも先行した開校です。

小中一貫校は小学校6年・中学校3年の9年間を一体的に捉える新しい学校です。義務教育段階では戦後の学制改革以来の改革となります。国の制度化と市川市の動きを整理したのが次の図です。

【国の動き】	
平成18年	教育基本法改正 義務教育の目的を初めて規定
平成19年	学校教育法改正 義務教育の目標を初めて規定
平成20年	教育基本法、学校教育法改正を受け、小・中の学習指導要領を一貫した方針に基づき同時に改訂
【市川市の動き】	
平成21年	「学校間の連携の推進」（第1次教育振興基本計画）
平成24年	塩浜小・中学校を小中連携研究校に指定 ※連携の取組が最も盛んであったため。
平成26年	「塩浜小・中学校を小中一貫校」とする （第2次教育振興基本計画）、基本計画策定（8月）
平成27年	「塩浜学園」開校（H28.4 国で制度化）

そして、市川市では、「塩浜学園」開校後の3年間(-H29)を充実期間として国の義務教育学校の制度化と足並みを揃え施設等の整備を進める予定です。このように市川市では、国の制度改革の動向と市川市内の学校の現状を絶えず見据えながら施策を推進しています。本特集では、国の制度改革と市川の教育改革の関係や関連を紹介していきます。【教育次長】 《関連》小中一貫 塩浜学園

特別支援教育の充実 ～自分らしく学び、自分らしく社会参加をしていくために～

市川市では、子どもたちの個性と可能性を生かし、「自分らしく」学び「自分らしく」社会参加をしていくために、そして、様々な人々が個性を認め合い生き生きと活躍できる共生社会の実現を目指して、特別支援教育の推進を図っています。

本年3月には、「市川市特別支援教育推進計画」の見直しを図り、後期計画を策定したところです。

これまでの推進の方向性に大きな変化はありませんが、以下のことに重点をおいて取り組んでいます。

推進① 教職員の指導力の向上

具体的には、教職員の専門性の向上につながる研修会の実施や、「わかる授業づくり」のためのリーフレットの定期的な発行によって、指導のポイントを教職員に周知する取組などを進めています。

推進② 教育的ニーズに基づいた指導

個別の教育支援計画としての

「市川スマイルプラン」をさらに使いやすいものに改善する予定としています。

インクルーシブ教育とは

平成26年1月に国が批准した「障害者の権利に関する条約」においては、インクルーシブ教育システムとは、「障害のある子どもと障害のない子どもが同じ場で共に学ぶ仕組みであるとして、個人に必要な『合理的配慮』の提供に努めなければならない」ことが示されています。

共生社会の実現に向けて

特別支援教育は、障害のある子どもたちへの教育にとどまらず、一人一人の違いを認め、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基盤となるものであり、インクルーシブ教育システムの理念は、共生社会の実現に向けて重要な意味をもっています。

このことから、さらに、特別支援教育が着実に進んでいくよう努めているところです。

【指導課】 《関連》インクルーシブ



二俣幼稚園・二俣小学校合同運動会 ～温かく地域に見守られ～

5月17日(日)、二俣幼稚園と二俣小学校の運動会が、合同で行われました。



大玉送り

お天気にも恵まれ、晴天の中、元気いっぱいの子どもの声が響き渡りました。

平成28年3月末で休園となることが決まっている二俣幼稚園の現在の園児数は16名です。

そのため今年度は、幼小合同で行われることになりました。

「おどるポンポコリン」大成功!

園児たちは、応援合戦や大玉送りなどでは、小学生のお兄さん・お姉さんと一緒に力を合わせて頑張りました。

特に、小学1・2年生と合同で行ったダンス「おどるポンポコリン」では、先生が本番間際まで、園児の前で指導するなど、少ない練習時間の中でしたが見事大成功を収めることができました。



ダンス「おどるポンポコリン」

一人一人が笑顔いっぱい、楽しく演技をする姿が、とても印象的でした。演技後はたくさんの観客から大きな拍手が送られていました。

充実した一日に

園児たちは合同運動会という大きな行事を通して、小学生と交流し、共通の目的を実現する喜びや楽しさを味わうことがで

きました。

保護者の方々だけでなく、二俣に住む地域の皆さんからも、温かく見守られていると感じ、小学校生活へ大きな期待を寄せたことでしょう。

園児にとっても小学生にとっても、充実した一日となりました。

【就学支援課】

《関連》[市川市立幼稚園](#)

こころの劇場

子どもたちの心の成長に

劇団四季による「こころの劇場」が、5月22日(金)文化会館にて行われました。

今年の演目は「むかしむかしゾウがきた」です。

大昔、唐の国から贈られたゾウと、そのゾウを愛し、戦から守ろうとした村人たちとの、心温まる交流や、命の大切さを題材とした舞台でした。

リアルなゾウの動き、そして



素晴らしい歌と踊りに手拍子が起るなど、子どもたちは自然に舞台に引き込まれていきました。

この観劇を通して、子どもたちはミュージカルの素晴らしさとと

も、「生命の大切さ」や「相手を思いやる心」も感じ取っていたようです。

「こころの劇場」の取組は、子どもたちの心の成長にとって

貴重な場であり、優れた演劇に触れるきっかけともなります。

今後も6年生を対象として開催をしていく予定です。【指導課】

放課後に安全な遊びと生活の場を!

放課後保育クラブ

①放課後保育クラブとは?

保護者の方のお仕事や病気により、放課後や土曜日・夏休み等を子どもだけで過ごす小学生を対象に、家庭に代わる安全な遊び場と生活の場を提供し、健全に育むことを目的とします。

市内46カ所(全小学校39校と地域ふれあい館・公民館)に開設され、今年度より利用対象を「小学6年生まで」に拡大しました。

授業が終わり、放課後保育クラブへ来た子どもたちは、支援員のもとで宿題を進めたり、室内外で遊んだり、おやつを食べたりして過ごしています。

また、学校のクラスとは違って、異年齢集団での生活は、利用する子どもたちにとって良い経験になるでしょう。

ほかにも、保育クラブごとに遠足やお誕生会などの楽しいイベントも催されています。



②詳しい情報は、どこで?

保育料や入所の要件など利用に関する詳しい情報については、市のウェブ内、青少年育成課のページでご案内しています。そのほか青少年育成課窓口(南八幡仮設庁舎2階)、総合市民相談課(本庁舎1階)、行徳子育て総合案内(行徳支所2階)で申請書をお配りしています。

入所申請は、前月の15日締め切りで、翌月1日入所です。受付は随時行っています。

詳細は11月の広報や、市のウェブ等でお知らせします。

問い合わせ 383-9419

【青少年育成課】

《関連》[放課後保育クラブ](#)

家庭教育学級 保護者のための学びの場

①家庭教育学級とは?

家庭教育学級は、「子どもたちの望ましい成長を願う大人たちの学習の場」として、市内の公立幼稚園、小・中・特別支援学校に開設されています。4月28日(火)に説明会が開催されました。これを受けて、各学級では、今年度も運営委員の皆さんが、家庭教育や親の学びの講座を計画しています。

②どんなことをやってるの?

★講座の例(26年度)

- ・「脱!おこりんぼママ(子育てコーチング)」
- ・「思春期の子どもとの接し方・向き合い方」
- ・「子どもと作れるXmas料理」
- ・「親子で楽しむ身近な科学」
- ・「英国式紅茶教室」
- ・「高校見学」
- ・「チャレンジ!ボルダリング」



ボルダリング(昨年度・塩焼小)

「親の学び」をご一緒にいかがですか?興味をもたれた方は社会教育課までご連絡ください。問い合わせ383-9386【社会教育課】

《関連》[家庭教育学級](#)

連載①「よりよい家庭教育のために」

～幼児期編～

家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点です。

今号より「よりよい家庭教育のため」のアドバイスを、3回連載でお伝えします。

①「いつも子どもとなりがいい」

幼児期の家庭教育で大切なことは、家庭が子どもにとって心安らぐ居場所となることです。

🌸 気持ちのよいあいさつから家族のコミュニケーションが始まる。

🌸 子どもとなりで同じ方向を向き、同じものを見て会話を楽しむ。

🌸 子どもと一緒に本を読んだり、読み聞かせをしたりして、本の話をする。



このような会話を通して、子どもは言葉を覚え、言葉に親しんでいきます。この時期に、子どもとなりで十分な時間を過ごすことが、やがて小学校に向かって自分で歩いて行く子どもの大きな力となっていきます。

②「信じて待ってみよう」

子どものペースに合わせて、親がゆとりを持って「待つこと」や、時には「戻ること」も大切です。親の安心感や満足感

のために子どもに対して性急さや効率性を無理に求めたりすることのないように。

わが子の成長に関して周囲に振り回されず、その子のよさや可能性を信じて、わが子を軸とした子育てをこの時期はゆっくりじっくり楽しんでください。「親が待つ分だけ子どもは伸びていく」と信じて。【社会教育課】



「あそび」で子どもたちを育もう!

コミュニティクラブの活動

「コミュニティクラブ」は「あそび」を通して、子どもたちを育むことを目的とした団体です。市内16ブロック(中学校区)に分かれて、学校や公民館等を使用して活動しています。

通学する学校や住む地域に関係なく、他地域の活動にも参加できます。(一部活動を除く)

活動例

「囲碁・将棋教室」(第八中)

毎月第一・三土曜日に第八中の家庭科室にて「囲碁・将棋教室」を開催しています。この教室には、ブロック内の小学生を中心に約30名が登録しています。毎回、数名の地域ボランティアの方に指導いただいています。

初めての子や、本格的に対局したい子など様々なニーズに対応でき、子どもたちが生き生きと取り組む様子が見られます。

こうした地域の大人と子ども、また子ども同士が直接コミュニケーションを取りながら一喜一憂する体験は、未来の明

るい地域社会作りへつながる大切な体験です。



「ボランティア大募集!」

今回紹介した活動のほかにも、子どもたちや親子で楽しめる活動をたくさん行っています。各コミュニティクラブの活動は、市のホームページや市内の小・中学校や公民館、図書館等に掲示されている「あそびの情報」で確認できます。

また一緒に「あそび」の企画をしてくれる登録ボランティアや、行事ごとに子どもたちのリーダーとして活躍してくれる中・高・大学生のボランティアを募集しています。興味のある方は青少年育成課までお問い合わせください。TEL383-9419

【青少年育成課】

《関連》[コミュニティクラブ](#)



歯みがきで良い将来!

6月3日(水)に「第41回市川市むし歯予防大会」が開催され、各学校から選ばれた健歯(むし歯がなく歯並びも良い)児童生徒の審査と、入賞者の表彰が行われました。

また歯科衛生作品(図画・ポスター・作文)コンクールで入賞した児童生徒の表彰も同時に行われました。入賞者の皆さんは表彰され、とても嬉しそうだったのが印象的でした。

表彰式では、さすが学校代表と感ぜられる、落ち着いた立派な態度でした。

歯科医師会の先生からは、「歯を大切にしている人たちは、姿勢も素晴らしい」、「歯みがきは歯周病予防につながり、それは長生きにつながるのだ」というお話も伺いました。

歯を大切に、より良い将来につなげていきましょう。

【保健体育課】《関連》[ヘルシースクール](#)

おめでとう! 受賞者一覧

部門	賞	学校名	学年	氏名
健歯児童	優秀賞	宮久保小	6年	平間 海斗
	優秀賞	中国分小	6年	田中新之介
	優秀賞	塩焼小	6年	青木幸太郎
小学校6年	優秀賞	国府台小	6年	小池 咲里
	優秀賞	平田小	6年	三橋 花奈
	優秀賞	塩浜小	6年	富澤ひかり
健歯生徒	優秀賞	第二中	3年	南場 隆次
	優秀賞	第五中	3年	樋口 冬真
	優秀賞	妙典中	3年	奥山 泰佑
中学校3年	優秀賞	第一中	3年	上田 陽香
	優秀賞	福栄中	3年	加藤木彩良
	優秀賞	南行徳中	3年	音田 七海
図画の部	優秀	鶴指小	3年	河島 芽生
	優秀	国分小	2年	佐藤 貴也
	優秀	須和田の丘	2年	関口 昂太
	優秀	須和田の丘	2年	鈴木 聡真
	優秀	須和田の丘	2年	山本 優七
	優秀	須和田の丘	2年	松丸 将大
	優秀	須和田の丘	2年	根本 明昂
	優秀	須和田の丘	2年	山口智有希
	優秀	須和田の丘	2年	荻野 晃行
	優良	北方小	3年	樋口ひかり
	優良	大洲小	1年	吉野 朱莉
	佳作	八幡小	2年	小林 彩奈
	佳作	市川小	2年	小野 舜
	佳作	市川小	2年	志田 滯
ポスターの部	優秀	鶴指小	6年	西村 和真
	優秀	国分小	6年	原田 光
	優秀	須和田の丘	6年	金山 勇太
	優良	若宮小	4年	大原 心羽
	優良	鶴指小	4年	木下 日菜
	優良	北方小	6年	星田 龍哉
	佳作	鶴指小	4年	倉知 叶多
	佳作	柏井小	4年	高田 愛佳
作文の部	優秀	須和田の丘	6年	今川 優真

校内塾・まなびくらぶ

「校内塾・まなびくらぶ」とは?

放課後や長期休業中に、学校で基礎的・基本的な学習の機会を設けるのが「校内塾・まなびくらぶ」です。

昨年度、市内小・中学校全校で取組を始めました。

実施2年目の今年度も、学校ごとの計画により順次開始されています。

教育課程外の活動のため、希望者を対象

とします。また実施する学年や取組の方法、開催時期も学校により異なります。

支援にあたる「まなびサポーター」も多様です。教職経験が豊富な退職教員や地域の支援者、将来教職を目指す熱意にあふれた大学生といった方々が、子どもたちの学びを支えてくださっています。

豊かな経験をもとにした丁寧な指導や、親しみが持てるお兄さん・お姉さんからの優しい励ましを受けて、子どもたちは目を輝かせて学習しています。

活動例

柏井小では、理科室などの特別教室も利用しながら、取り組

む内容ごとに分かれ、「まなびサポーター」のきめ細かい支援を受けた学習を進めています。つまり、励まされることで、子どもたちは安心して、時間いっぱい集中して学習に取り組んでいました。



昨年度のアンケートでは、どの学校からも、子どもたちの学習意欲の向上につながったという声が寄せられました。

今年度も「校内塾・まなびくらぶ」は、子どもたちの「やる気」を育み、自ら進んで学ぶ力を引き出します。【指導課】

市川の明日を支える若い力 新規採用教職員等研修会

教育委員会や学校の2年目の職員を対象とする「市川市新規採用教職員等研修会」の第1回目が6月4日(木)、市川教育会館にて開催されました。

この研修会は、日々抱える課題へのよりよい取り組み方や、市川の教育についての理解を深めることを目的としています。

当日は教育委員や教育長、教

育次長をはじめとする講師を交えて、それぞれの職務についてグループで意見交流を行いました。

講師の方々、参加者一人一人の話にメモを取りながら耳を傾け、参加者は、温かい励ましや助言に大きくうなずいていました。真剣な表情で



話し合う場面の中にも、時々笑い声が上がったり、グループの発表の際には拍手が起こったりと、和やかな雰囲気の中で終わることができました。

この場での交流が、市川教育のこれからを担う教職員みなさんの新たな活力になることを願っています。【指導課】

夏休み自由研究お助け月間

考古・歴史博物館では、夏休み期間に「夏休み自由研究おたすけ月間」として様々な行事を行います。各企画の内容・申し込み方法は、以下のとおりです。

	日時	対象 (保護者同伴可)	人数
小学生学芸員体験	7/28(火)	小4年生以上	10組
歴史地図作り	7/30(木)行徳 8/27(木)八幡	小3年生以上	それぞれ20名
昔の洗濯体験	8/8(土)	小学生以上	10組
竹の水鉄砲作り	8/22(土)	小学生以上	20組

※以上4つは、歴史博物館へ電話(373-6351)または、歴史博物館窓口で受け付けています。

	日時	対象
夏休み宿題相談会	8/4(火)~ 8/9(日)	小3年生以上

※申し込み不要。直接歴史博物館へ。



竹の水鉄砲つくりの様子

	日時	対象	人数
火をおこそう	8/15(土)	小学生以上 (保護者同伴可)	先着30名

※縄文～現代までの火おこしを体験

申し込み：考古博物館へ往復はがきで
〒272-0837市川市堀之内2-26-1

ほかにも小学生向けの体験学習を開催しています。

「広報いちかわ」や博物館のウェブでご確認ください。

【考古・歴史博物館】 《関連》 [考古博物館](#) [歴史博物館](#)



オープンスクールデーのご案内

市立小・中・特別支援学校では、「地域に開かれた学校づくり」の一環として、「オープンスクールデー」を設定しています。各学校の教育活動を保護者だけでなく、地域住民の皆様にもご覧いただくために開催します。是非、足をお運びください。

なお、日程は、教育委員会のウェブに掲載しています。詳細につきましては各学校へお問い合わせください。

【義務教育課】 《関連》 [オープンスクールデー](#)

☆小・中学校の講師募集☆

市川市教育委員会では、市内の公立小・中・特別支援学校に勤務できる講師等を随時募集しています。

(1)募集職種

①県費講師：産前産後休暇等の代替

②市費補助教員：教科指導のサポート及び、学級担任等の補助

(2)応募資格

①希望校種または担当教科の教員免許状を所有する方(取得見込みの方も含む)

②地方公務員法第16条及び学



校教育法第9条の欠格事項に該当しない方

③教職に必要な見識と熱意も持った、心身ともに健康な方

(3)応募方法

電話でご連絡ください。

TEL383-9261

(4)その他

*採用につきましては、欠員が生じた場合に登録者の中から再度面接の上決定します。

*登録後すぐに採用されるものではありません。

【義務教育課】

《関連》 [講師登録](#)



チャレンジャースクール

「チャレンジャースクール」とは?

自然豊かな環境に恵まれた市川市少年自然の家が主催する年間5回からなる自然学習プログラムです。

これは、市内の小学校に通う4年生から6年生までの児童を対象として「自分たちのことは自分たちで行う」を合言葉にして、知恵や勇気、優しさをもって仲間と物事を成し遂げていきます。

今年の取組

5月に第1回目「仲よくならう科」を行いました。初めての出会いで緊張していた子どもたちも、オリエンテーリ

自分たちのことは自分たちで!

ングのゴール時には、出会いの緊張感を少しも感じさせないほど仲よくなっていました。

また、午後からの「梨の木ペンダント」作りでは、真剣な表情で思い思いの絵を描き、誇らしげに友だちに見せていました。

第1回目から友だちの輪が広まり、大町の自然の豊かさにも触れることができました。

第2回目以降は「昆虫採集の宿泊学習」や「火おこし体験・天体観望」、「野外炊事」等に挑戦します。自然の美しさや友だちの優しさ、友だちと協力する一体感、そして何より自分たちでやりきった充実感を伝えていきたいと職員一同願っております。

《関連》 [市川市少年自然の家](#)

思わず「懐かしい!」の声

市川歴史博物館では、昭和30年代までの、衣・食・住に関する生活道具を展示する企画展「昔のくらしと道具を探そう」を開催します。

これは、小学校3年生の社会科「古い道具と昔のくらし」に関連した展示です。手押しポンプや、手回し式の洗濯機、蚊帳など実際に触れたり、中に入ったりできる資料を多く展示しています。

今年度は昔の市内の写真や、学校関係資料、年中行事の写真なども新たに展示します。また、展示期間も小学校の学習の時期に合わせて、来年の1月31日(日)まで延長しています。

さらに小学校向けの体験学習では、行燈や石油ランプなどの明るさを体験する「むかしのあかり体験」や火打石による火おこしも行います。

懐かしさがこみ上げる展示をご覧に、ぜひ市川歴史博物館へお立ち寄りください。



昔の洗濯道具のコーナー

企画展「昔のくらしと道具を探そう」

期間：9月1日(火)

～1月31日(日)

時間：9:00～16:30

休館日：月曜

(月曜が祝日の場合は火曜日)

問い合わせ：市川歴史博物館

TEL 373-6351

【考古・歴史博物館】

《関連》 [市川歴史博物館](#)

子どもにかかわる相談は、ここでできます!

○ほっとホット訪問相談(教育センター)対象：小学1年生～中学3年生
主に不登校についての電話・訪問相談

TEL 320-3362 火～金(12時30分～17時)

○教育相談(教育センター)対象：3歳～中学3年生
子育て・教育に関する様々な悩みについての面接相談

予約TEL 320-3336 火～土(9時～17時)

○少年相談(少年センター)対象：小学1年生～20歳未満
家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談

TEL 320-3340 月～金(9時～17時※木のみ19時)

《関連》 [ほっとホット](#) [教育相談](#) [少年相談](#)



この「教育いちかわ」はウェブでもご覧いただけます。「教育いちかわ」で検索、または[市川市教育委員会](#)のウェブからアクセスしてください。(「教育いちかわ」のバックナンバーも掲載しています。)